

平成 28 年 11 月 9 日

寿都中学校保護者 各位

寿都町立寿都中学校
校長 東堂 亮之

平成 28 年度 全国学力学習状況調査の結果についてのお知らせ

晩秋の候、保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また平素より本校の教育活動に対してご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。新聞等の報道により「平成 28 年度 全国学力学習状況調査」の調査結果等が報道されております。本校でもこの春に実施し、結果等が学校に伝えられております。結果をもとに本校で分析を行いましたので以下の通りご報告いたします。

【全国学力学習状況調査から】

○国語 A (主として知識)

本校の平均正答率は全道、全国ともに平均と同等です。領域別にみると「話すこと・聞くこと」に関しては全道・全国とほぼ同等。「読むこと」に関しては全道・全国よりも高い正答率です。ただし「書くこと」に関しては全道・全国と比べやや低くなっています。平成 27 年度と同様に「書くこと」に関する課題が見られません。

○国語 B (主として活用)

本校の平均正答率は全道よりやや低く、全国平均より低いです。領域別にみると「話すこと・聞くこと」「読むこと」「書くこと」の全領域で全道・全国と比べ低いです。特に「書くこと」に関しては A 問題と同様に正答率が低いです。問題の出題の形式で比較しても記述問題の正答率が低くなっており課題と考えられます。

○数学 A (主として知識)

本校の平均正答率は全道、全国平均より低いです。領域別にみると「図形」「資料の活用」「数と式」「関数」の全領域で全道・全国と比べ低いです。

特に「関数」に関しては今後の課題と考えられます。しかし「図形」に関してはやや低い程度であり、昨年度と比較しても同様の（図形への理解が高い）傾向が見られます。

○数学 B (主として活用)

本校の平均正答率は全道、全国平均と同等です。領域別にみると「図形」に関しては全道よりも高い正答率です。「関数」「資料の活用」に関しては全道・全国と比べ低く、「数と式」に関しては全道・全国とほぼ同等です。A 問題同様に「数と式」「関数」に課題がみられ、「図形」に関してはやや高い正答率となっています。

○生徒質問

- ・今年度は「自分は良いところがある」など自尊感情に関しては全道・全国と比べやや低いですが「人の役に立ちたい」「困っている人は進んで助ける」などは全道・全国と比べるとかなり高い数値になっています。
- ・「地域の行事に参加していますか」など地域への関心を当設問への回答では全道・全国と比べ圧倒的に多くの生徒が「参加している」「関心がある」と回答しています。
- ・「スマートフォンや携帯ゲーム」の使用時間は全道・全国と比べかなり長時間使用している結果となっています。
- ・「400 字詰め原稿用紙 2～3 枚に感想文を書く」では全道・全国と比べて苦手意識を感じている生徒が多く見られます。
- ・「【国語】【数学】の授業は好きか。」の問いに対してすべての教科で全道・全国よりも「好き」と回答している割合が高いです。

*裏面は北海道教育委員会によって公表される予定の「平成 28 年度全国学力学習状況調査」の寿都町に関するデータです。

寿都中学校としては 3 年間の中で確実に学力を身につけ、入試をはじめとした将来に向けた学習を一人一人が積み上げていくことを最も大切に考えております。調査結果の「高い」「超えた」または「低い」「超えなかった」等の数値に単純に一喜一憂せず、今後も授業作りを工夫したいと考えております。